

## 2022年度 オレンジツリー 便り

令和5年3月  
橘小学校図書ボランティア  
オレンジツリー代表

橘小学校では学校図書館に対する理解を深め、その質の向上に協力するために、図書ボランティア「オレンジツリー」が活動しています。2月17日には6年生最後の朝の読み語りを行いました。高学年になっても真剣に聞いてくれる姿は、1年生の頃と変わりません。これからも沢山の本を読んでほしいと思います。今回は、オレンジツリーを卒業する2名の保護者の方へインタビューを行いましたので、一部ご紹介します。

オレンジツリーの合言葉

できるときに

できるひとが



できることを

## 【オレンジツリー歴は何年ですか？】

Aさん：12年 Bさん：8年

## 【加入のきっかけを教えてください】

Aさん： お便りで図書ボの存在を知り、「楽しそう！」と思い入会。図書ボ歴でお分かり頂けると思いますが、本当に楽しかったです！

Bさん： 「オレンジツリー」って何をするのかな？と気になりつつも1年が経ち、勇気を出して行ってみました。偶然知り合いが2人いて、他のメンバーもとても気さくで「楽しそう！」と思い入会しました。

## 【これまで読んできた本の中で印象深いものを教えてください】

Aさん： 「花さき山」です。幼い頃おばあちゃん家で見つけて以来ずっと読み続けています。

Bさん： 「オニのサラリーマン」毎年2月頃よく読みました。関西弁でしゃべるオニが面白い！大人も楽しめる1冊です。

それともう1冊「そらいろ男爵」最後の読み語りで出会った本。1ページ毎の色彩が素晴らしい。

## 【活動を通しての思い出】

Aさん： 合言葉「できるひとが できるときに できることを」をメンバー1人1人が体現し、柔軟に対応して頂き大きな力となりました。PTAが大きく変わろうとしている今、「できない」ことよりも「何ができるか」を大切にしてきたオレンジツリーが良きモデルケースになれば幸いです。

Bさん： 手遊び歌を披露した際、子ども達から「ハベエさん」と覚えてもらいました。本名は覚えてもらえませんでした。嬉しかったです。反抗期で子育てに悩んでいた時に、オレンジツリーのメンバーに相談にのって貰ったこともあります。

## 【3学期活動報告】



## ① 読み語り

- ・朝の読み語り：1/20（金）1、3年生  
2/17（金）5、6年生  
3/17（金）2、4年生
- ・昼の読み語り：3/10（金）

## ② 作業：月2～3回程都合がつく人のみでの活動

- ・多読者プレゼントのしおりづくり
- ・卒業生へのプレゼントづくり
- ・本の修理、壁面装飾 等

「オレンジツリー」は橘小学校の現役保護者のみ加入できます。活動は1年更新制です。来年度の募集は一学期発行のお便りをご覧ください。ご興味のある方一緒に活動しませんか？活動の様子をほんの一部ですが学校HPへ掲載しています。是非ご覧ください♪

長崎市立橘小学校ホームページ

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tachibana-e/library/>



「花さき山」

作：斎藤隆介

絵：滝平二郎

出版社：岩崎書店



「オニのサラリーマン」

文：富安陽子

絵：大島妙子

出版社：福音館書店



「そらいろ男爵」

文：ジル・ボム

絵：ティエリー・デュー

訳：中島さおり

出版社：主婦の友社